

能美のお正月

文：博物館

あけましておめでとうございます。令和という新時代、最初のお正月がやってまいりました。今回は、能美に伝わるお正月の風習についてお話しします。

辰口町で歌われた童歌に「正月正月 どこまでござった お山のはしのころこ橋までござった（以下略）」というものがあります。この「正月」とは、お正月様、つまり新年に福をもたらす年神様のことです。お正月は、お正月様を迎え、祀る、お祭りなのです。能美では、オカザリ、いわゆる鏡餅が床の間に飾られ、お正月様を迎えられました。また、神棚、仏壇、台所、お手洗いと、あらゆるところに小さなしめ飾りなどが供えられ、家中の神様が祀られたのです。

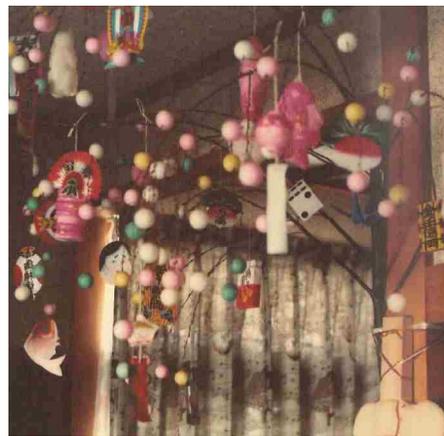
また、能美周辺の風習として、サラックワ（ケラバ）があります。サラックワは約30cmの木の棒に2升ほどのお餅を巻き付け、丸形か軍配形に薄くのぼして乾燥させたものです。大きなお餅の団扇のようなサラックワですが、田んぼを耕した最後の仕上げに土を叩く鎌の形を模したものとされています。このサラックワは男の子が生まれた家にお嫁さんの実家から贈られ、お正月に大黒柱につるされました。女の子が生まれた家には、マイダマと呼ばれる、柳や細い竹に蘭玉を模した小さな丸いお餅を刺したものが贈られ、やはり大黒柱に飾られました。

元旦一番に汲まれる水はワカミズと呼ばれ、邪気を払うとされました。ワカミズは床の間などに供えられ、その水でお雑煮を作ったり、お茶をいれたりしました。黒豆を3粒入れてお茶を沸かす地域もあり、黒豆が当たれば福運があるとされました。

1月中旬には左義長が行われ、書初めが高く燃え上がると筆が上達する、左義長の火で焼いたお餅を食べると病気になる、病気が治る、と言われました。また、柿などの実をつける樹に鎌や鉞で「成るか成らぬか」とおどかして「成ります成ります」と誓わせる「成木責め」と言われる風習もありましたが、今ではほとんど見られません。

お正月の過ごし方も、時代の流れとともに大きく変化しました。しかし、能美に伝わる、能美ならではの過ごし方も大切に守っていききたいですね。本年秋オープンの新博物館では、電気が普及する前の暮らしを紹介する展示室があります。新博物館で、懐かしい昭和の雰囲気をぜひ、味わってください。

お正月の過ごし方も、時代の流れとともに大きく変化しました。しかし、能美に伝わる、能美ならではの過ごし方も大切に守っていききたいですね。本年秋オープンの新博物館では、電気が普及する前の暮らしを紹介する展示室があります。新博物館で、懐かしい昭和の雰囲気をぜひ、味わってください。



女の子が生まれた家に飾られたマイダマ

人口と世帯数

2019年12月1日現在

●人口 50,242人
(前月比-12)
男 25,033人 女 25,209人
●世帯数 19,275世帯
(前月比+27)

ひぼ・ゆづの ぽん でえこっさア

【外国語版ごみ収集カレンダー】

英語・ベトナム語・中国語（簡体字）・韓国語・ポルトガル語に対応したごみ収集カレンダーができました。必要な地区名、言語、枚数を事前に生活環境課へご連絡ください。市ホームページからもダウンロードできますのでご利用ください。

問い合わせ 生活環境課 (☎ 58-2217)

今月の手話

ぜひ動画でご確認ください

「今月の手話」が動画でご覧いただけるようになりました。手話の細かな動きや他の方向から見たときの動作が確認できます。

市公式ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。



手話ページQRコード▶

問い合わせ 福祉課 (☎ 58-2230、☎ 58-2294)



○トップページ>暮らし>障害者福祉>手話動画

「令和」

- 5本の指をすぼめた片手を、胸のわきに出す
- 前に動かしながら指先を緩やかに開く



「2年」

- ①-1、①-2 右手で数字「2」を表し、立たせた左手の握りこぶしにあてる



「あけましておめでとう」

- 人差し指を立てて外側に向ける
- 手首を返して平行に上下に並ぶようにする（漢字の一月一日を表している）
- 両手を軽く握る
- 握った手を上に上げながらパッと開く



「ねずみ年」

- ねずみ…①-1、①-2 右手の人差し指と中指を曲げて、口前で軽く上下させる

- 年……②-1、②-2 右手で数字「1」を表し、立たせた左手の握りこぶしにあてる



11/22 加賀丸いも初競り
プレミアムは2個2万円で落札

「加賀丸いも」の今シーズンの初競りが金沢市中央卸売市場で行われ、特に丸みを帯びて整っている最上級品の「プレミアム」は、1箱2個入り2万円で競り落とされました。

競り落としたのは温泉旅館「まつさき」で、社長の松崎陽充さんは「生産者が苦労して育てた素晴らしいものなので、ぜひ競り落としたいという気持ちがありました。料理長が腕をふるう一品で、地元の愛情を感じてほしい」と話していました。



競り落とした加賀丸いもを手に南加賀地区丸いも生産協議会の皆さんと談笑する「まつさき」の松崎陽充さんと富士永さん

11/29 福岡小に感謝状を贈呈
人権の花運動

花を育てることで生命の尊さを実感し、豊かな心を育みやさしさと思いやりの心を培う「人権の花運動」の感謝状贈呈式が福岡小学校で行われました。

福岡小では5月から児童がベチュニアやマリーゴールドなどの花を植え込み、世話を協力して行ってきました。その活動をたたえ、小松人権擁護委員協議会能美部会から感謝状と記念品が手渡されました。

贈呈式の後には、人権教室が開かれ、児童たちは友だちに対する思いやりの心を学びました。



感謝状を受け取る代表児童

防災センターで続々開催！

普段でも災害時でも役に立つ
「子どもを守る親子防災講座」

12月1日、アウトドア防災ガイド、あんどろりすさんによる子どもを守る親子防災講座を市防災センターで開催しました。

「使えるものが限られ、自然に左右されるアウトドアで培われた知恵は防災に役立つ」という視点で、普段の生活にアウトドアの知恵や防災グッズを取り入れる防災術を教えてくださいました。被災時の防寒防暑対策、ミルク・母乳の与え方、家具の固定要領、雨の威力、水の力、長靴やライフジャケットの有用性、ベビーカーでの避難要領、さらしのおんぶ、荷物の運び方、いつものバッグに一工夫など、子育て中のママやパパに役立つヒントが次から次に飛び出しました。

「子どもを守る術がたくさん分りさっそく実践したい」と乳幼児や小さなお子さん連れのママから好評でした。

▶ 100mmの雨が降る際のイメージを伝えるあんどろりすさん



防災は特別なものではなく、当たり前もの
能美市防災ワークショップ

11月23日、和歌山県上富田ふれあいルーム講師である幾島浩恵さんによる「親子で楽しめる防災ワークショップ」を市防災センターで開催しました。

「自身の壮絶な被災体験のほか、防災の大切さを子供に伝え続ければ、親に伝わり、近所の方にも伝わる」また、「ウィークタイズ」という言葉を用い、防災は「うすいけれども広くてゆるやかな信頼で繋がった人間関係」が大切と語りました。

ワークショップでは、ゴミ袋でレインコートや新聞紙で帽子、スリッパなどを作り、たまごのカラーをガレキに見立て、カラ踏み体験をしたり、親子で楽しみながら学びました。



◀ 自作の防災グッズを子どもたちに紹介する幾島さん

いしかわ動物園に行こう！

文：いしかわ動物園

■ いしかわ動物園の“めでたい”鳥たち

「鶴は千年、亀は万年」といいます。実際はそんなに長生きするわけではありませんが、長寿を象徴するこの“鶴”は、タンチョウのことです。世界最高のツルと形容され、国内種としては最大。国の特別天然記念物に指定された、折り紙つきのめでたい鳥なんです。

初夢で縁起がいいものをたとえるのは、「一富士二鷹三茄子」。んっ、何か間違えてますっけ？石川県の県鳥でもあるイヌワシを間近で見ることができる当園では、こう言うんですよ。もちろん、本物の「鷹」(オオタカ)もいますけどね。

そうそう、新年からは、トキ里山館の主がベテランのI(アイ)ペアから、若いBO(ビーオー)ペアに代わります。間もなく繁殖シーズンを迎えると体は灰褐色に変化していきますが、今はまだ、紅白のめでたい色彩に、あのトキ色が映えています。

お正月には動物学習センターに特設のイヌワシ神社で初詣。ついでに動物おみくじで新年の運勢を占ってくださいね。もしかしたら、イヌワシ神社の生き神さまが職員の腕に乗ってサプライズ登場…なんて僥倖に出合うかも。



▲左よりタンチョウ、イヌワシ、トキ

▲新春イヌワシガイド

みんなの図書館



おすすめの一般書



四角い光の連なりが
越谷 オサム [著]
新潮社

ふとしたときに思い出す。笑ったこと、泣いたこと。恋したこと、さよならしたこと。そこにはいつも、列車があった…。「やまびこ」ほか、人生の思い出が溢れ出す5つの物語。

おすすめの児童書



ハンカチともだち
なかがわ ちひろ [作]
アリス館

朝、はるちゃんは、今まで見たことのない、こびとがベッドで寝ている模様のハンカチを見つけました。すると、こびとはハンカチの中で寝返りをうちました。びっくりしたはるちゃんですが、そのハンカチを持って学校へ行くこと…。

Event

■ 根上図書館

「コアラのえほんパーティ」
内容 0～2歳児とご家族の方対象のおはなし会
①日時 1月13日(月・祝) 10時30分～
場所 根上図書館 おはなしのへや
②日時 1月27日(月) 10時30分～
場所 学習センター 創作室

■ 寺井図書館

「らいちゃんミニコンサート」
日時 1月28日(火) 12時30分～13時
出演 寺井高等学校 吹奏楽部・合唱部
対象 どなたでも

■ 寺井図書館は、館内工事のため1月13日(月・祝)まで休館しています。1月14日(火)から通常通り開館します。どうぞご利用ください。

※詳しくは、ホームページ、各図書館だよりをご覧ください。

12/6~8 歳末助け合い入札展

寺井地区公民館で、第56回歳末助け合い入札展が開かれました。

今回は、著名作家の九谷焼をはじめ、皿などの日用品、書や絵画など197点が寄贈されました。

25日には寄附金の贈呈式が行われ、収益金に市商工会の寄附金20万5000円を加えた98万689円が、主催者代表で市美術作家協会の山岸大成理事長から井出市長を経て、市共同募金委員会の田上好道会長に手渡されました。



会場の様子。寄附金は、「歳末お見舞い金」として贈られます。

12/7 夫妻ともに100歳に 中村さんおめでとうございます

中村貞子さん（大浜町）がめでたく100歳を迎え、井出市長からお祝い状と記念品が贈呈されました。

中村さんの夫である清治さんも令和元年5月10日に100歳を迎えており、能美市で初めて同じ年に揃って100歳を迎えられた夫妻となりました。2人は結婚して75年以上といえます。

贈呈式が行われた湯寿園では、中村さんご家族が集まり、くす玉を割ったりメッセージを伝えたりしてお祝いしました。



ご家族がお祝いする中、湯寿園職員と清治さんによる手づくりのブーケが貞子さんに渡されました。

11/14~17 創造性豊かな作品が集結 子どもマイスターウィーク

11月14日から17日まで、根上総合文化会館で「第12回子どもマイスターウィーク」が開催されました。会場には、市内小中学生の自由研究、工作、絵画、書など創造性豊かで感性あふれる作品703点が展示されました。

16日には表彰式が行われ、優秀作品の出品者に九谷焼の陶板が入ったマイスターメダルなどが贈られました。午後は、神戸常盤大学 栗岡誠司教授による来場者参加型サイエンスショーが行われ、約300人の親子の参加の中、楽しく科学を学ぶことができました。何人もの子どもたちが舞台上上がって、実際に道具を持ち色や光の変化を感じ、科学の不思議やおもしろさを実感しました。

期間中は、地元企業や小学校の先生方によるおもしろ科学教室やJ A I S T 佐藤俊樹准教授、鳥居拓馬助教によるプログラミング教室、市内外国語活動助手とJ A I S T 留学生4名によるオールイングリッシュ教室も開催されました。

【マイスター大賞の受賞者】

科学作品・自由研究部門 中出伊織さん（粟生小学校4年）「食べ物電池で光を灯せ！！」
アイデア自由部門 松本治仁さん（辰口中央小学校5年）「パソコンのしくみ」
絵画・書部門 吉光央菜さん（寺井中学校3年）「酔生夢死」



おもしろ科学教室

みんなでつくる博物館プロジェクト

11月23日、「みんなでつくる博物館プロジェクト、昔ながらの道具を使ってお米をつくらう！」の最後の活動、脱穀・もみすり編を開催しました。

5月に田植えし、9月に収穫した稲を、千歯こきを使って脱穀。すり鉢でもみすりを行った後、もみ殻と玄米の選別にも挑戦しました。最後は羽釜でご飯を炊き、おにぎりにして試食！子どもたちは「美味しい！」とたくさん食べてくれました。



千歯こきを使って脱穀の様子。「昔は茶碗一杯たいへんな量で米をつくらっていたことが分かった」「一生の思い出に残るイベント経験になりました」などの感想をいただきました。

12/15 第2回 チビッツ九谷太鼓 ふれあいコンサート

辰口福祉会館で第2回チビッツ九谷太鼓ふれあいコンサートが開催されました。このコンサートは、いしかわ県民文化振興基金の助成を受け開催されるもので、昨年度に引き続き2回目の開催となります。

「にんぎょうげきやさん」や「YUCK DANCE STUDIO ★東由希子」とのコラボレーションなどもあり、会場には様々な太鼓の音色が響きました。

太鼓体験のコーナーでは、子どもから大人まではじめて触れる太鼓の迫力を肌で感じていました。



訪れた約300人の観客は、華やかなびさばきに魅了されていました。

12/7 毎年12月3日～9日は障害者週間 ぼくらの街フェス in 能美

障がいへの関心や理解を深めてもらう交流の場として第11回障害者週間事業「ぼくらの街フェス in 能美」が根上総合文化会館で開催されました。

円形ホールでは、ステージで根上南部保育園児による手話ソングや、レーザークラブによるよさこいなどが披露されたほか、飲食物や手づくり製品の販売コーナー、ポッチャやフライングディスクといったスポーツを体験できるコーナー、手話体験コーナーなどが設けられました。



多くの来場者でにぎわいました。

11/16 世界とつながる特別な1日 「国際交流ひろば」開催！

今回で2回目となる国際交流ひろばが辰口福祉会館で開催され、会場では様々な国の人たちが交流を深めました。

「ワールドキッチン」では世界12カ国の料理が並び、来場者は普段は食べることがない料理を楽しんでいました。また、世界5カ国の本格的な音楽やダンスが披露される「ワールドステージ」や民族衣装のファッションショーがステージ上で行われ、会場は盛り上がりました。



「ワールドステージ」で披露された韓国のテコンドーは迫力満点でした。